

## 「しらぬひ」(デコポン)の特性

農業研究センター 果樹研究所 常緑果樹部

### 研究のねらい

近年、本県中晩柑の主要品種である甘夏の価格低迷が続いたが、これに対応するためポスト甘夏品種として、品質優秀、豊産性で栽培容易な「しらぬひ」(デコポン)を選定した。

### 研究の成果

#### 1. 来歴

1972年に農林水産省果樹試験場口之津支場で清見にポンカンを交配して育成したもので、1985年、果樹研究所が、県内で導入試作されているデコポンを発見し、現地調査と所内での適応性検定試験を行った結果、極めて優秀であることが判明した。

#### 2. 樹性

樹姿は、未結果期間においてはやや立性であるが、結果期に入ると次第に開張する。

樹勢はやや弱い傾向にある。未結果期には、枝梢は伸長が良好で刺が強いが、結果期になると、細く短い枝梢が多発し、刺も小型化してくる。葉は披針形でやや小さい。

#### 3. 結実性

花は、花粉が少なく、有葉花率が高い。単為結果で、結実性は良好である。

#### 4. 果実外観等

果形は、結果初期には果梗部に高いカラーを有し、倒卵形であるが、樹勢が落ちつけばカラーが小型化、あるいは消失する。果実の重さは平均230g程度で、玉揃いがやや悪い。

着色開始は10月下旬で、11月下旬に完全に着色し、黄橙色を呈する。果面は油胞が突出し、やや粗いものの、樹齢を増すごとに中程度となる。果皮は薄く、剥皮が容易で、極めて揮発性の高いポンカン香を有する。

#### 5. 果肉、食味等

果肉の色は橙色、じょうのう数は12個で、じょうのう膜はやや薄く種子がなく、袋のまま食べられる。果肉は多汁で果汁歩合75%程度と高い。糖度は12月で12度程度、2月上旬には14度以上となる。クエン酸は12月で1.4%程度、2月上、中旬で1.0%以下となる。

食味は糖度が高く、極めて良好である。

#### 6. 収穫・出荷時期

収穫期は1月下旬～2月上旬とし、出荷時期は、2月中下旬～3月一杯を目安に糖酸と食味を見ながら決定する。

#### 7. 普及地域

甘夏の代替品種として、露地栽培では既存の甘夏A地区と超A地区を対象とする。B地区に対しては、施設化を条件とする。

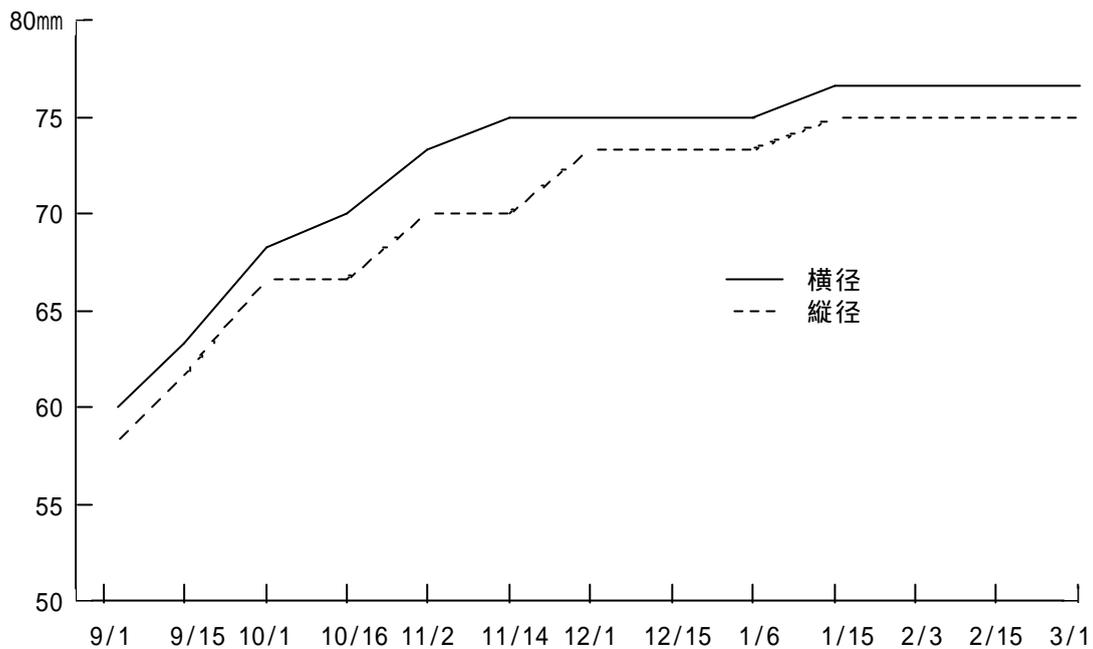


図1 果実肥大の推移

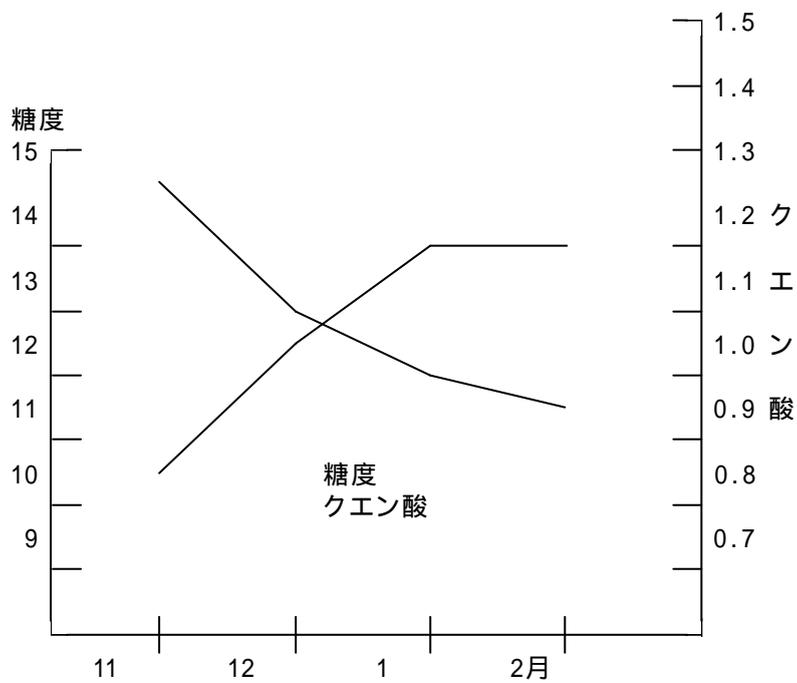


図2 果実品質の推移(ハウス) (S.62,63平均 果研)



写真1 開花状況



写真2 着果状況

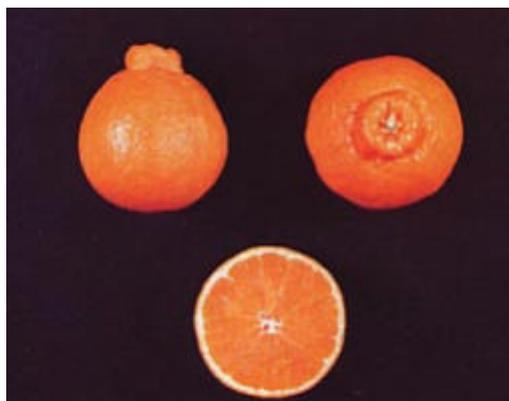


写真3 果実

農業の新しい技術PDFファイル版(熊本県農業技術情報システム)